



加
 治
 田

东
 浓

善
 山
 秩
 下

特 別
 ^5
 66.73
 34
 早稲田大学図書印



明和六己七歳旦



まうの年のあはれ

此のどきして

竹珂園

のぞく

見尔

蕙の敏サトさよ

祈の物

聖節

わうー仕付草とんと

蕉雨庵

巴山

恵方の神もちり

見尔

病も弟と掛ら

又休坊

各詠

中川よりとけ

彦夕

仲布風や定く

花也

走くー

可河

を近化しめて

竹布

掃神令磨と

仙帝

福女あや

有隣

為を助ぐ

書石

大流く

哉今

吾といふ

彦夕

古昔の春も

一溪

門をく

其栢

史あれ

海蔵
有来

子孫

蕙雨庵の

花の

静さ小暖やふりも年一の柳 吉左

成りし小燈よ炭つきよき 巴山

必群うもむしし節しほやあつて 見尔

念休、今のちやう侍法 友也

細く、地車のあはれあつても 山登

おのりのつらさ、説文を習 有隣

わが歌も清きよきむ月の歌 庵又

世の中、まじく酒のこころ 仙市

此の歌、月さしお屋敷をうらぶ
こもり住三様のさるる、前より
主後れよとぬし、好又よとて
藤よりくちくたか持の縁仍
おとろく欠と、いもか、海老酒の
喧しきも、ゆりま、とて、人目稀
あつた寂の比、よあつさ、らハ

山積の毎、あつて、又、連り、別て、ハ
朝夕の吉、修、き、し、く、定、ま、る、保、小
あつ、く、保、又、は、い、し、き、保、修、り、急、の
不、ま、り、い、ふ、ぬ、あ、つ、つ、保、修、を、も、ち、あ、る
よ、り、以、て、あ、つ、つ、固、燭、裏、よ、き、ま、い、
愆、修、と、こ、ら、と、あ、つ、つ、あ、つ、つ、年、の
ま、ぬ、と、記、し、し、く、
う、ま、い、連、て、あ、つ、つ、ま、い、り、年、本、燃、
ま、と、日、つ、と、ぬ、と、清、く、清、い、あ、る、
二、三、子、と、さ、さ、さ、な、後、冬、一、し、く、
小、涼、あ、つ、つ、少、ぬ、あ、つ、つ、あ、つ、つ、年、つ、ま、れ、
市、中、よ、あ、つ、つ、あ、つ、つ、雨、と、の、ま、
好、む、い、且、心、の、あ、つ、つ、ま、あ、つ、つ、と、
自、じ、よ、ま、い、と、い、し、し、し、し、し、
何、し、ん、人、禁、下、れ、修、を、え、
山、登、り、あ、つ、つ、

吉左
巴山
見尔
友也
山登
有隣
庵又
仙市
吉左
巴山
見尔
友也
山登
有隣
庵又
仙市
山登りあつ



三
京橋名作